



プレスリリース

連絡先: [press@hevcadvance.com](mailto:press@hevcadvance.com)

## HEVC Advance ライセンサー、Vestel および Xiaomi に対する HEVC 特許侵害訴訟をデュッセルドルフ地方裁判所に提起

*Mas Elektronik* 社、*HEVC Advance* 特許プールのライセンサーに

ボストン – (2020年8月16日) – HEVC Advance (「Advance」) は本日、HEVC/H.265 デジタル映像符号化規格の必須特許を侵害したとして Vestel Germany GmbH (「Vestel 社」) ならびに Xiaomi Technology Germany GmbH、Xiaomi Technology Netherlands B.V.、Xiaomi Technology France S.A.S.、および Xiaomi Inc. (「Xiaomi 社」) に対し個別の特許侵害訴訟を、HEVC Advance HEVC/H.265 特許プールの複数特許権者がドイツのデュッセルドルフ地方裁判所に提起したと発表しました。訴状によると、Vestel 社は HEVC/H.265 技術を組み込んだテレビやセットトップボックスをドイツで提供し、Xiaomi 社は HEVC/H.265 技術を組み込んだモバイル製品をドイツで提供しています。

Advance はさらに、MAS Elektronik Aktiengesellschaft (「MAS 社」) が HEVC Advance 特許プールのライセンスを取得したと発表しました。これは、HEVC/H.265 デジタル映像符号化規格の必須特許を侵害するとして、MAS 社に対するドイツ・デュッセルドルフ地方裁判所における特許侵害訴訟において HEVC Advance ライセンサーである GE Video Compression, LLC、Dolby International AB および Koninklijke Philips N.V. が最近有利な判決を受け、また差止請求が認められたことを受けてのものです。同裁判所は、主張されたすべての特許は MAS の HEVC/H.265 準拠製品 (セットトップボックス、TV、タブレット型コンピュータ) により侵害を受けたと判決し、また重要な点として、MAS 社に提供された Advance のライセンス条件および実施料は公平、合理的、かつ非差別的 (「FRAND」) であると判決しました。MAS 社がライセンサーとなることから、原告3社が提起した特許侵害訴訟に関連するすべての訴訟は解決されました。

### HEVC Advance について

HEVC Advance LLC は、最も重要な規格に基づく映像コーデック技術の必須特許ライセン



シングのための特許プールを発展、運営、管理推進するために設立された、独立系ライセンスアドミニストレーターです。Advanceは、特許権者および特許実施者の両方に透明性のある効率の高いライセンスメカニズムを提供しています。Advanceに関する詳細情報は、[www.hevcadvance.com](http://www.hevcadvance.com)をご覧ください。

